

平成 17 年 9 月 27 日

日本バルカー工業、非石綿シール製品の開発完了・ガーロック社との提携強化 石綿含有シール製品の生産を年内に全面中止

石綿の健康障害問題がクローズアップされる中、政府は、平成 17 年 7 月、これまで例外的に製造・使用が認められていた石綿含有シール材等の製造・新規使用を遅くとも 2008 年までに全面禁止する方針を打ち出しました

日本バルカー工業株式会社（本社東京，社長瀧澤利一）は、こうした状況を踏まえ、非石綿シール材の品揃えで万全の態勢が整ったことから、平成 17 年 12 月末日をもって石綿含有シール材の生産を全面的に中止することを決定致しました。

バルカーグループは、総合シール材メーカーの立場から、石綿に代わる新しい各種素材を慎重に吟味し、非石綿シール材の開発に注力してまいりました。

平成 15 年 12 月には、黒鉛と PTFE を主成分とする、今までにない新しいタイプの高機能非石綿シートガスケット「バルカーブラックハイパーGF300」の開発を完了し、バックデータを整備してまいりましたが、多くのユーザーからの高い信頼性が得られたことから、この度、石綿代替製品として本格的展開を開始致しました。また、取扱い性に優れた黒鉛系シート「ブラックハイパーGE200」、ジョイントシートタイプの新製品「ブラックスーパー6502」についても同時期に上市し、徐々に実績が付き好評を得ております。これらの製品は、化学プラントなどの配管の継ぎ手用、蒸気ライン用、機器用ガスケットとして使用される非石綿シール材であり、石綿代替品の完全な取り揃えに成功、同業他社に先駆け、信頼できる非石綿シール製品群を供給出来る万全の体制を構築致しました。

一方、バルカーグループは、平成 15 年 7 月より世界的な総合シール材トップメーカーガーロックシーリングテクノロジー社（本社ニューヨーク州、社長ポール・バルデッティ）との間で、包括的業務提携を行ってまいりました。

このガーロック社の非石綿シール材は、石綿代替で先行している欧米諸国で、高い評価を得ており、多くの使用実績を誇っております。

バルカーグループは、国内ユーザー向けの一連の脱石綿化への取り組みを加速させるため、本年 9 月からガーロック社とより一層の関係強化を図り、ガーロック社の非石綿シール材の取扱い実績、各種ノウハウの有効活用をはじめ、非石綿シール製品の最適供給の態勢を確立致しました。

バルカーグループは、非石綿シール材の品揃えで万全の体制が整ったことにより、また、ガーロック社との石綿代替に向けた協力体制の確立を期に、石油化学、石油精製分野を中心としたユーザーに対して、これまで以上に積極的に脱石綿化への協力を要請していく所存であります。同時に、ユーザーサイドからバルカーグループに対し、非石綿シール材への代替要請がありますことを強く希望しております。

以上